

長寿（後期高齢者）医療制度と 国民健康保険からのお知らせ

くわしくは
税務課 市民税係
☎ 21-5113

10月から、加入者の一部の方の保険料や納付方法が変わりました。

該当者の方には、すでにご通知していますが、内容をよくご確認ください。

長寿（後期高齢者）医療制度

◎軽減率の変更

一人当たり定額の保険料が7割軽減されていた方について、次の点が変わりました。

○10月から軽減率が8割になりました。

○8月まで年金天引きされていた方の場合、今年度の保険料については、10月以降、年金からの天引きはありません。

◎年金天引きへの変更

次の方は、10月から原則として年金天引きになりました。

○社会保険などの被保険者だった方
：納付書などによる納付から年金天引きに変わりました。

○夫や子どもがサラリーマンで、その扶養になっていた方：4月から9月までは保険料の負担がありませんでしたが、10月から保険料を

負担していただくことになりました。ただし、本来の保険料の9割が軽減され、1割の負担となります。

◎年金天引きから口座振替への変更

保険料の納付は、原則として年金天引きとなりますが、次のいずれかの要件に該当する場合、申請によって口座振替に変更することができます。

- 国民健康保険税を、直近の2年間滞納せずに納付していた方。
- 年金収入が年額180万円未満で、世帯主または配偶者の口座から振替で納付する方。

国民健康保険

世帯主を含む被保険者の方全員が65歳～74歳の世帯の場合、10月からは原則として、「世帯主の方の年金から保険料が天引きされる」ことになりました。

ただし、次の要件に該当する場合、申請によって口座振替に変更することができます。

- 国民健康保険税を、直近の2年間滞納せずに納付していた世帯。



※長寿（後期高齢者）医療保険料、国民健康保険税ともに、窓口での申請手続きの後に年金天引きが中止になります。申請する時期によって、年金天引きが中止される時期が変わってきますので、あらかじめご了承ください。



市内の河川水質状況報告

日光のきれいな水を 私たちの手で守りましょう



市内の河川、農業用水の水質はおおむね良好

市では、環境に関する必要な情報を提供するため、各種調査を行っています。今回は、昨年度行った河川や農業用水の水質調査についてお知らせします。なお、市内の河川は、県内のほかの地域と比べ、厳しい基準値が定められています。

市では昨年度、34の河川と17の農業用水で水質調査を行いました。環境基準項目のうち、調査を実施した項目は下表のとおりです。

◎BOD（生物化学的酸素要求量）の測定結果

環境基準を達成している割合（以下、達成率は、河川全体で96%、農業用水全体で94%と、いずれも高い数値でした。平成18年度以前の調査結果と比較すると、特に農業用水での水質の改善が見られました。

◎大腸菌群数の測定結果

達成率は河川全体で65%、農業用水全体で0%と、低い数値となりました。なお、BODと大腸菌群数以外の項目は、すべて100%の達成率でした。以上の結果から、市内の

水生生物の生息状況から水質を判定

河川や農業用水は、おおむね良好な水質が保たれていますが、大腸菌群数の達成率から見ると、全河川において生活排水の影響があることが考えられます。

市では水生生物の生息状況を調べ、河川の水質を判定しています。その対象となる水生生物を指標生物といます。指標生物の種類と数によって、水質の程度を「きれいな水」からⅣ「大変汚い水」まで4階級に分類しています。

昨年度は鬼怒川、大谷川2か所、男鹿川、渡良瀬川、行川、湯川（湯の湖尻）の計7か所で調査を実施。湯川を除き、総合では「きれいな水」と判定されました。湯川は、理化学的分析では「きれいな水」と判定さ

水質調査を行った河川・農業用水および調査項目

	調査対象	調査項目（環境基準項目）
河川水	大谷川（中宮祠、和の代、七里大橋上流、関の沢大橋上流）、鬼怒川、渡良瀬川（渡良瀬橋付近、遠下橋付近）、古大谷川、砥川、小百川、赤堀川、田川、行川、武子川、清水川、湯川支流を含み3地点、大谷川支流9河川、湯西川、男鹿川、栗山地域の鬼怒川5地点	◎生活環境項目 BOD、大腸菌群数、溶存酸素量、pH、SS（計5項目） ◎健康項目（有害物質） カドミウム、全シアン、鉛、六価クロム、ヒ素、総水銀、アルキル水銀、ポリ塩化ビフェニール、ジクロロメタンなど（計26項目）
	七里五ヶ村用水、今市上段用水、大沢五ヶ村用水、瀬尾用水、芹沼新田用水、芹沼用水、塩野室三ヶ村用水、小林用水、水無用水、板橋用水、大渡用水、清水川上流用水、嘉多蔵用水、大室用水、尻尻用水、高内用水、飛沢用水	◎生活環境項目 BOD、大腸菌群数、溶存酸素量、pH、SS（計5項目） ◎健康項目（有害物質） カドミウム、全シアン、鉛、六価クロム、ヒ素、硝酸性窒素および亜硝酸性窒素（計6項目）

私たちの手で

市内には数多くの清流が流れています。これらの水が汚れると、動植物に影響を与え、私たちの生活へも悪影響を及ぼします。

川にごみなどを捨てないのはもちろんのこと、公共下水道や合併処理浄化槽を利用すれば、生活雑排水はきれいに生まれ変わります。私たち一人一人の手で、きれいな日光の水を守りましょう。

くわしくは 環境課 環境係 ☎ (21) 51152

奥日光の河川農薬調査

平成17年に湯ノ湖・湯川・戦場ヶ原・小田代原がラムサール条約に登録されました。これらの湿原には貴重な動植物が生息しています。そこで昨年度、湯川と地獄沢で残留農薬調査を行いました。調査は農薬環境項目の殺虫剤や殺菌剤、除草剤など、計203項目の分析を行い、すべての項目で環境基